

瀬戸市 量の見込み算出資料

ニーズ量算出結果報告書

平成26年8月3日時点

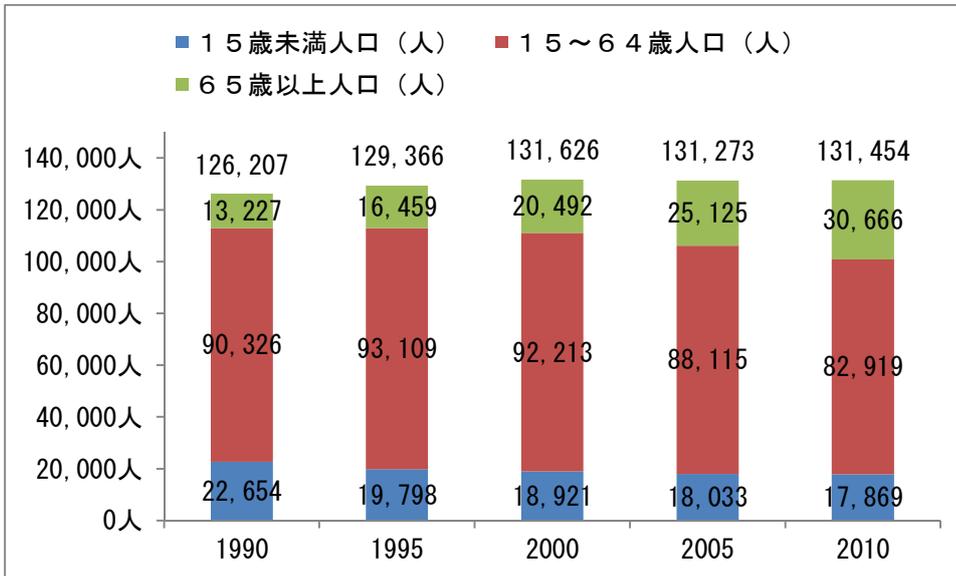
瀬戸市

目次

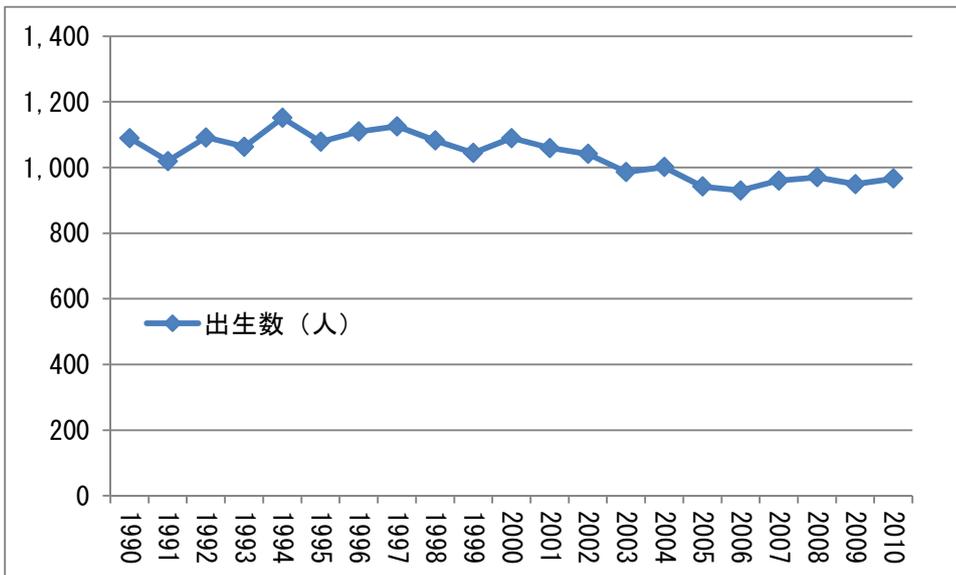
I. 瀬戸市の概況	1
II. ニーズ量算出前提	4
1. 人口推計	4
III. ニーズ量	7
1. 量の見込みの算出方法（概要）	7
2. 平日日中の教育・保育ニーズ	8
3. 時間外保育事業	14
4. 放課後児童健全育成事業	15
5. 子育て短期支援事業（ショートステイ）	19
6. 地域子育て支援拠点事業	20
7. 一時預かり	22
8. 病児・病後児保育、ファミリー・サポート・センター（病児・病後児）	24
9. 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児対象）	25
10. 利用者支援事業	26
11. 妊婦に対する健康検査	26
12. 乳児家庭全戸訪問事業	26
13. 養育支援訪問事業	26

I. 瀬戸市の概況

図表 1 人口の推移（3区分）¹



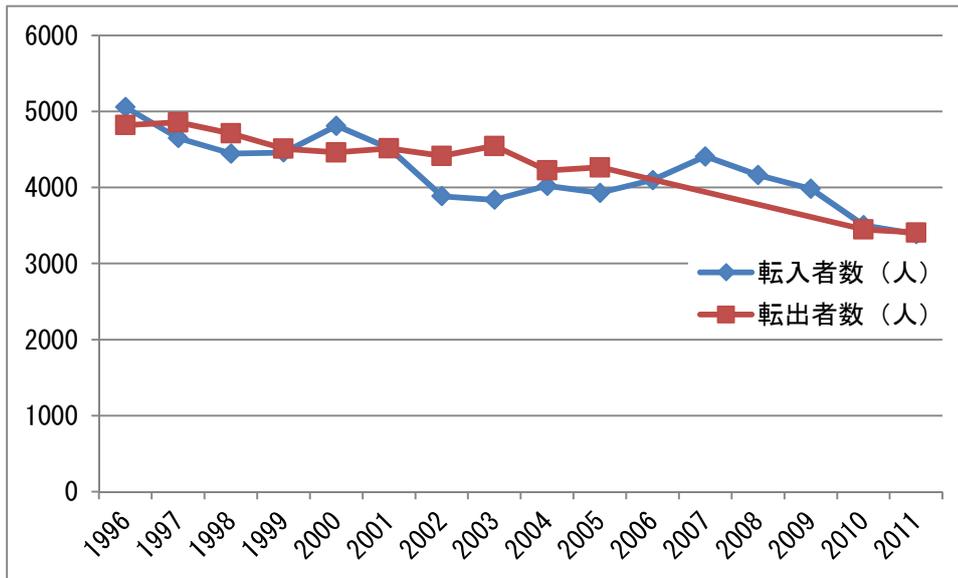
図表 2 出生数の推移²



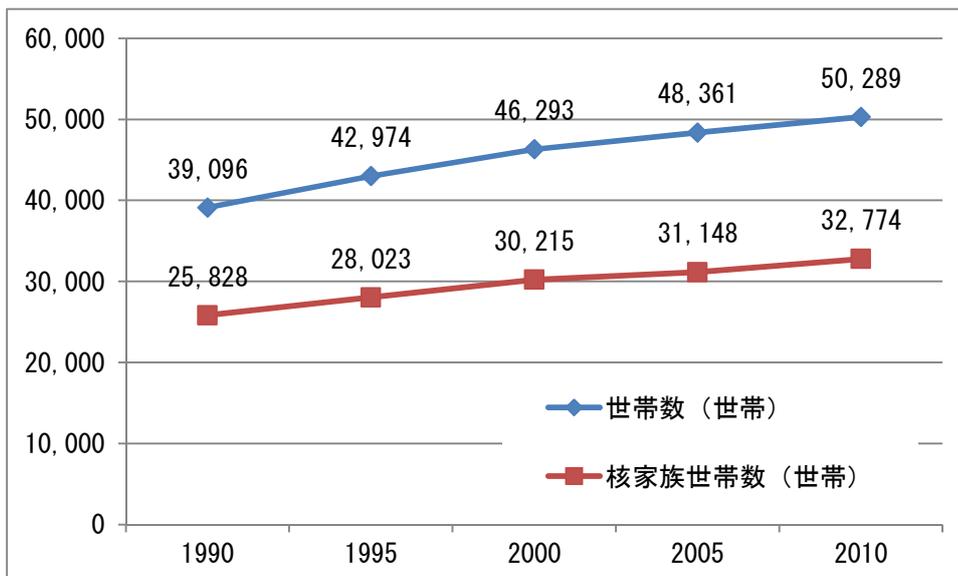
¹ 国勢調査

² 人口動態調査

図表 3 転入・転出数の推移¹



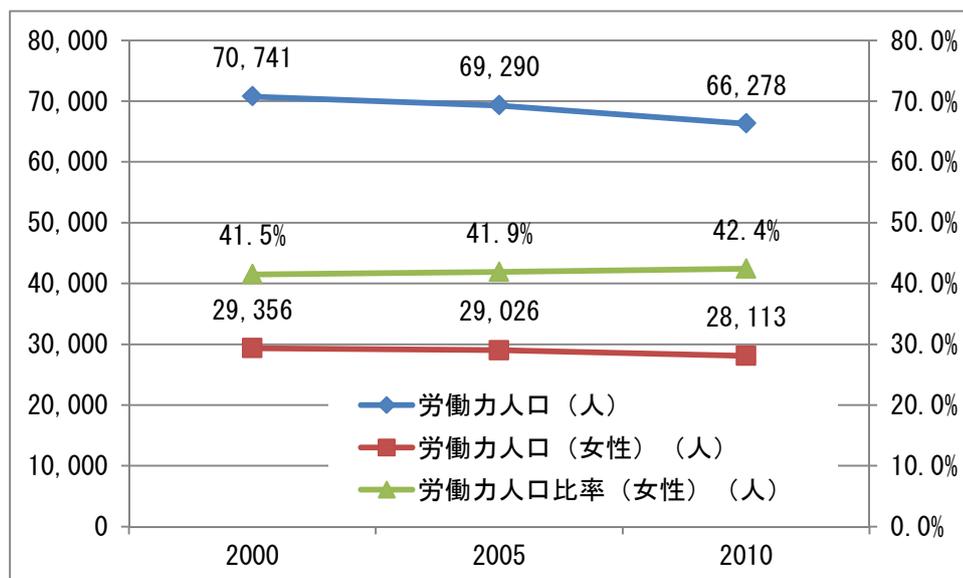
図表 4 世帯数の推移²



¹ 住民基本台帳人口移動報告 (2006年から2009年の転出数はデータ無し)

² 国勢調査

図表 5 労働力人口の推移¹



¹ 国勢調査

II. ニーズ量算出前提

1. 人口推計

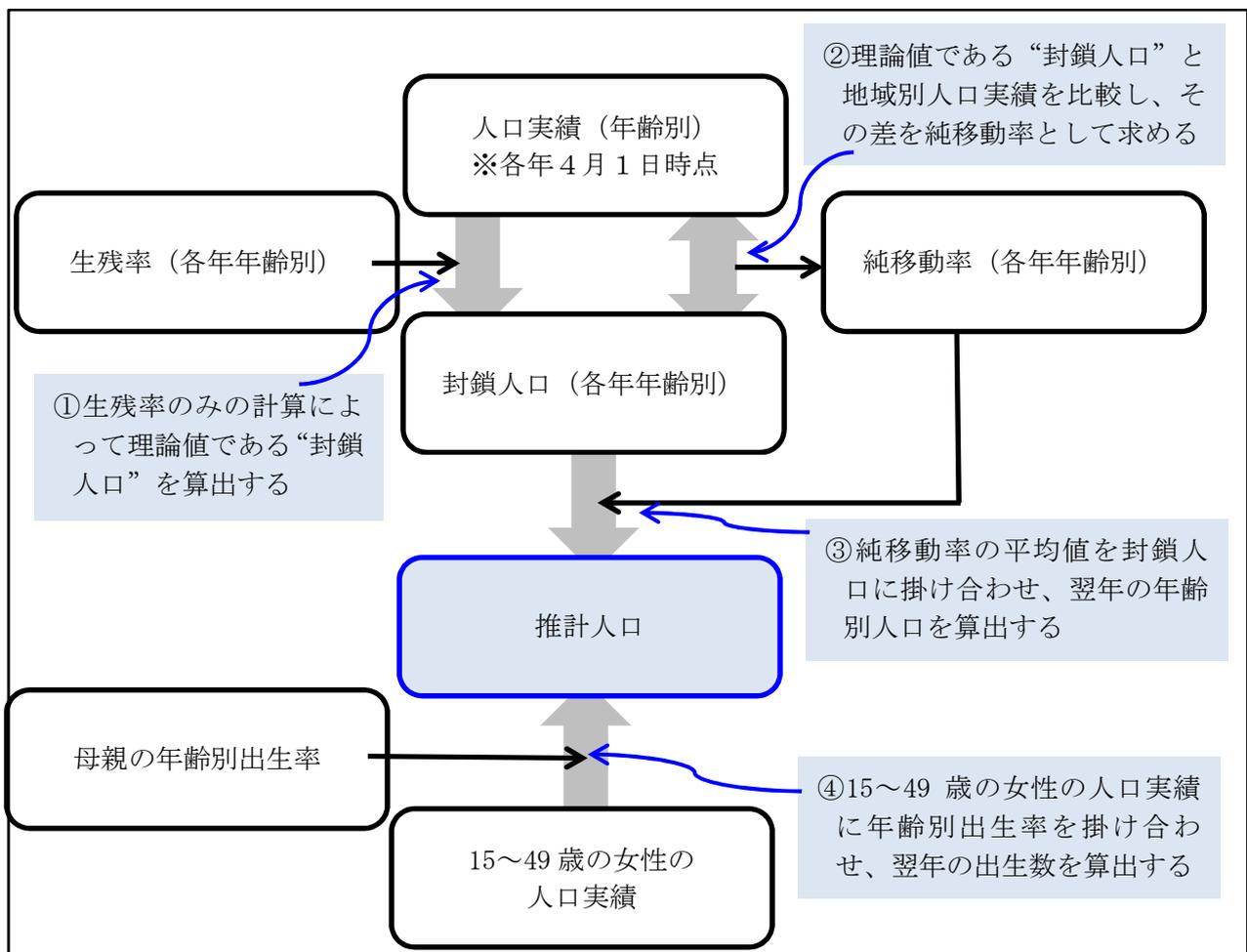
1. 人口推計の手法

量の見込み算出のため、人口推計を実施する。人口推計で一般的に推奨される方法として「コーホート¹変化率法」と「コーホート要因法」の2種類がある。「コーホート変化率法」は過去の各コーホートの増減を“変化率”として定め、人口に掛け合わせて推計する手法である。一方、「コーホート要因法」は“自然増（出生・死亡）”及び“社会増（転入・転出）”の将来値を仮定し、これに基づいて推計する手法である。

瀬戸市の人口推計は、今後も社会増による人口増加が見込まれる地域もあることから、より詳細な仮定データを用いて推計する「コーホート要因法」を用いて人口推計を行うこととした。

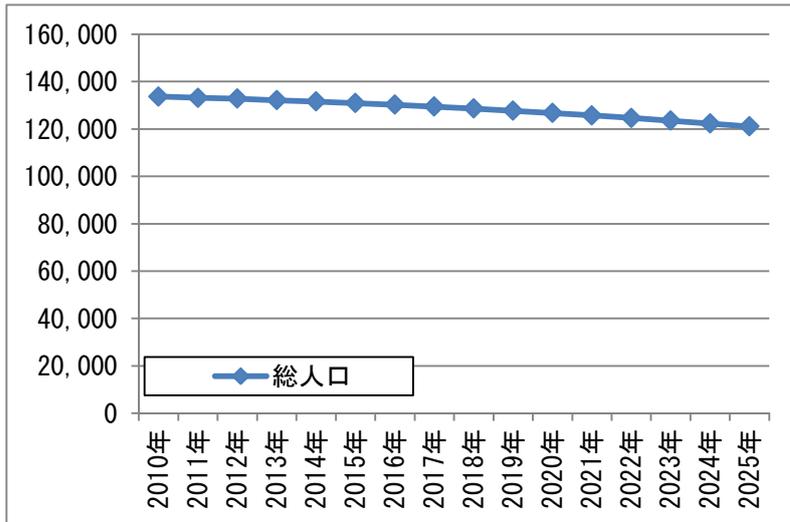
人口推計に利用する“年齢別生残率”、“母親の年齢別出生率”は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」における仮定値を用いることとした。

図表 6 人口推計の手順

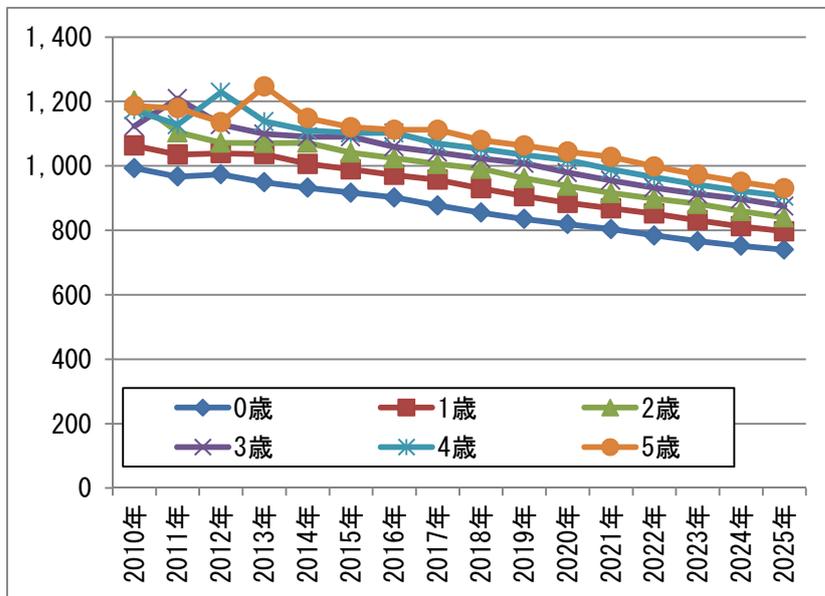


¹ コーホート：同じ年に生まれた人々の集団

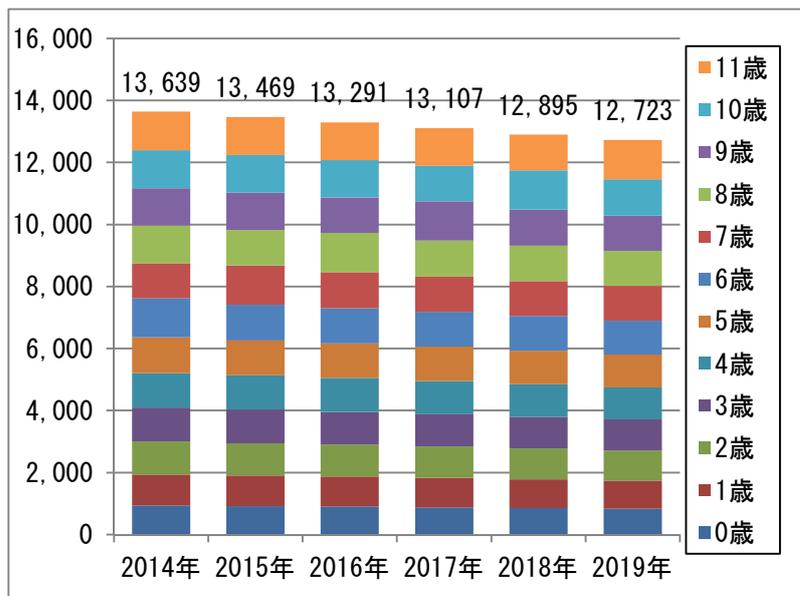
図表 7 総人口の推移



図表 8 就学前児童の人口推移



図表 9 計画期間内の子ども数の推移



図表 10 人口データ一覧¹

(人)	実績					推計				
	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
0歳	993	967	974	949	932	917	902	877	855	835
1歳	1,063	1,035	1,039	1,036	1,006	989	972	957	930	906
2歳	1,203	1,104	1,072	1,071	1,072	1,041	1,024	1,006	991	962
3歳	1,123	1,209	1,128	1,099	1,090	1,090	1,059	1,042	1,023	1,008
4歳	1,173	1,128	1,229	1,138	1,110	1,102	1,102	1,070	1,053	1,034
5歳	1,187	1,179	1,136	1,247	1,148	1,120	1,112	1,112	1,080	1,063
6歳	1,226	1,200	1,194	1,137	1,257	1,157	1,129	1,121	1,121	1,089
7歳	1,239	1,220	1,204	1,200	1,138	1,258	1,158	1,130	1,122	1,122
8歳	1,274	1,246	1,230	1,206	1,207	1,144	1,265	1,164	1,136	1,128
9歳	1,242	1,285	1,245	1,230	1,209	1,210	1,147	1,268	1,167	1,139
10歳	1,315	1,241	1,291	1,237	1,229	1,208	1,209	1,146	1,267	1,166
11歳	1,305	1,327	1,245	1,290	1,241	1,233	1,212	1,214	1,150	1,271
11歳未満合計	14,343	14,141	13,987	13,840	13,639	13,469	13,291	13,107	12,895	12,723

¹ 各年4月1日時点

Ⅲ. ニーズ量

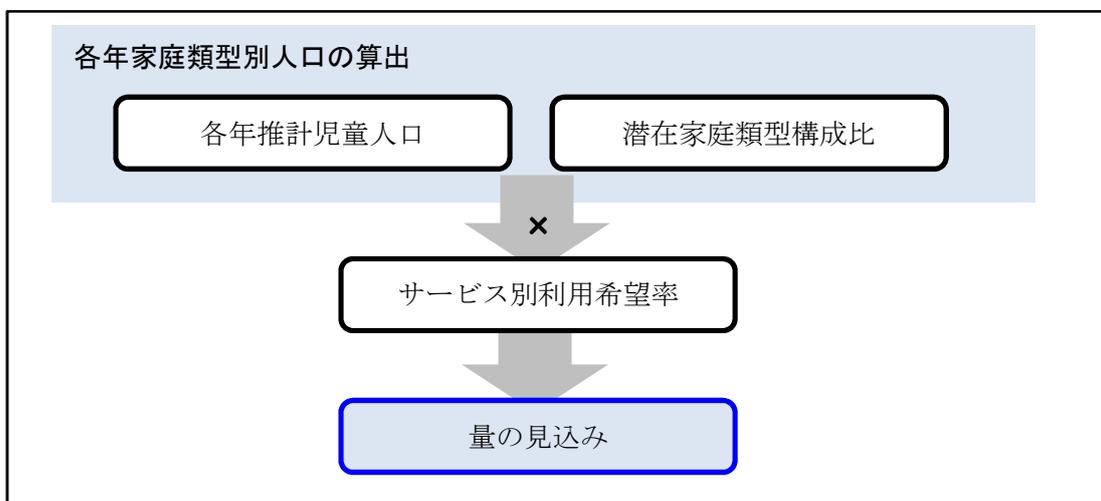
1. 量の見込みの算出方法（概要）

平成26年1月に国が示した基本指針（市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き）及びワークシートを基に、事業計画で定める教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを設定することが基本となる。量の見込み算出には、「平成25年度に実施したニーズ調査結果」および「計画期間内の推計児童人口」のデータが必ず必要となる。

量の見込み算出の基本的な手順は以下（図表11）に示すとおりであるが、詳細な集計方針は内閣府HP¹の子ども・子育て支援制度に係る自治体向け情報を参照されたい。

なお、国が示した指針及びワークシートは基本的な考え方と手順を示したものであり、これに従うことを義務とするものではない。従って、市町村においては、指針及びワークシートの結果を絶対の見込み量として捉えることなく、実情に応じて解釈・検討を加えて見込み量を決定することが求められる。

図表 11 量の見込み算出の基本手順概要



¹ 内閣府：<http://www.cao.go.jp/>

2. 平日日中の教育・保育ニーズ

区域設定

瀬戸市全域

保育園の利用状況（各年4月1日現在）

	(単位)	平成 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
0歳	人	52	48	43	50	46	47
1歳	人	175	173	179	197	204	218
2歳	人	208	276	256	279	280	297
0～2歳合計	人	435	497	478	526	530	562
3歳	人	449	418	503	464	462	475
4歳	人	453	484	438	524	482	474
5歳	人	487	470	493	447	534	486
3～5歳合計	人	1,389	1,372	1,434	1,435	1,478	1,435
0～5歳合計	人	1,824	1,869	1,912	1,961	2,008	1,997
保育所数	箇所	23	23	23	23	23	24
定員数	人	1,900	1,900	1,940	1,940	1,910	2,120

待機児童の推移（各年4月1日現在）

国基準での算出

	(単位)	平成 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
3歳未満	人	15	16	14	7	7	3
3歳以上	人	0	1	0	0	0	0

※求職中等で保育所に入所できない者を含めた待機児童は平成26年度42人

幼稚園の利用状況（各年5月1日現在）

【市内幼稚園利用者】

	(単位)	平成 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
3歳	人	558	625	641	594	584	632
4歳	人	651	629	627	669	617	658
5歳	人	652	671	632	637	667	691
計	人	1,861	1,925	1,900	1,900	1,868	1,981
幼稚園数	箇所	7	7	7	7	7	7
定員数	人	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062

【市外幼稚園利用者】

	(単位)	平成 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
3歳	人	21	16	26	20	19	27
4歳	人	22	23	16	30	22	21
5歳	人	33	24	24	20	32	24
計	人	76	63	66	70	73	72

【幼稚園利用者 合計】

	(単位)	平成 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
3歳	人	579	641	667	614	603	659
4歳	人	673	652	643	699	639	679
5歳	人	685	695	656	657	699	715
計	人	1,937	1,988	1,966	1,970	1,941	2,053

【類型区分】

- ①<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）
⇒両親がフルタイム就労等により、保育所等の利用意向が強い（対象：0歳児）
- ②<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）
⇒両親がフルタイム就労等により、保育所等の利用意向が強い（対象：1・2歳児）
- ③<1号認定>（認定こども園及び幼稚園）
⇒両親が短時間就労または専業主婦（夫）等により、幼稚園等の利用意向が強い（対象：3歳児～）
- ④<2号認定>（幼稚園）
⇒両親がフルタイム就労等であるが、幼稚園等の利用意向が強い（対象：3歳児～）
- ⑤<2号認定>（認定こども園及び保育所）
⇒両親がフルタイム就労等により、保育所等の利用意向が強い（対象：3歳児～）

量の見込み（補正前）

(単位:人/日)		平成				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
0歳	①<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）	358	353	343	334	326
1・2歳	②<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）	803	790	777	760	739
0～2歳	①＋②合計	1,161	1,143	1,120	1,094	1,065
3歳～	③<1号認定>（認定こども園及び幼稚園）	1,576	1,557	1,534	1,501	1,477
	④<2号認定>（幼稚園）	316	312	307	301	296
	③＋④合計(⑥)	1,892	1,869	1,841	1,802	1,773
	⑤<2号認定>（認定こども園及び保育所）	1,113	1,100	1,083	1,061	1,043
3歳～	⑥＋⑤合計	3,005	2,969	2,924	2,863	2,816

- 国の算出基準に従った方法でニーズ量を算出すると、上記のとおりとなる
- 国の算出基準は、特に0歳、1・2歳のニーズが過大に計上される傾向がある。これは、アンケート項目に、「何歳から利用したいのか」という項目がないため、0歳児の保護者が保育の利用希望があると回答した場合、すべて0歳児のニーズとして算出されるためである。
- 以上のことから、市町村独自で実態に応じた補正を行うことが求められる。

量の見込み（補正後）

※0歳、1・2歳児の（ ）の数値は前回会議の数値

(単位:人/日)		平成				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
0歳	①<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)	66 (71)	65 (69)	63 (68)	61 (66)	60 (64)
1・2歳	②<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)	637 (647)	626 (636)	616 (625)	603 (613)	586 (596)
0～2歳	①+②合計	703 (718)	691 (705)	679 (693)	664 (679)	646 (660)
3歳～	③<1号認定>(認定こども園及び幼稚園)	1,737	1,716	1,691	1,654	1,629
	④<2号認定>(幼稚園)	348	344	339	332	326
	③+④合計(⑥)	2,085	2,060	2,030	1,986	1,955
	⑤<2号認定>(認定こども園及び保育所)	1,227	1,213	1,194	1,170	1,150
3歳～	⑥+⑤合計	3,312	3,273	3,224	3,156	3,105

(前回の算出方法)

- 0歳～2歳児までのニーズは、実態を考慮するため、アンケート調査において把握した「保育施設等の現在の利用率」を人口推計結果に乗じて算出した。
- 3歳以上については、アンケートの利用希望が実績を下回る。そのため、「すべての3歳児の子ども」が保育園または幼稚園を利用すると仮定し、国の基準で算出した量の見込みの構成比と、人口推計の3歳～5歳の人数を掛け合わせた。



(愛知県ヒアリング後の算出方法)

- 0歳児の保育利用者は、就業等をしているが、母親が産前産後休暇のみで復帰した場合、および育児休暇を1年未満に切り上げたケースが主要であると考えられる。これを仮定として、国の手引きから導き出したニーズ量から、「育児休業を取得していない割合(0.124)」及び「育児休業を取得し、取得期間が1年未満の者の割合(0.06)」を計上した0.184を乗じて算出した結果を、0歳児のニーズ量として算出した。
- 1～2歳児までのニーズは、国の指針に基づくニーズ調査結果から、母親の育児休業取得希望が3歳以上の者の割合(0.207)を除き算出した。
- 3歳以上については、アンケートの利用希望が実績を下回る。そのため、「すべての3歳児の子ども」が保育園または幼稚園を利用すると仮定し、ニーズ調査結果から、「潜在家庭類型」と「利用意向」を乗じた各区分の割合を、推計児童数に掛けあわせた。

教育・保育の提供体制

※現在の施設の定員数を基に、受け入れ可能数を算出。

(単位:人/日)		平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
0歳	①<3号認定>(認定こども園 及び保育所+地域型保育)	70	70	70	70	70
1・2歳	②<3号認定>(認定こども園 及び保育所+地域型保育)	572 (保 553、小 19)	621 (保 583、小 38)	621 (保 583、小 38)	621 (保 583、小 38)	621 (保 583、小 38)
0~2歳	①+② 合計	642	691	691	691	691
3歳~	③<1号認定>(認定こども園 及び幼稚園)	1,714	1,718	1,723	1,730	1,736
	④<2号認定>(幼稚園)	348	344	339	332	326
	⑤<2号認定>(認定こども園 及び保育所)	1,607	1,607	1,607	1,607	1,607
3歳~	③+④+⑤ 合計	3,669	3,669	3,669	3,669	3,669

- 0~2歳児の事業量は、平成27年度に1園(こうはん南保育園)を民営化することによる定員増加を見込む。
- 1・2歳児の事業量は、平成27年度からの小規模保育所等の認可及び平成28年度に1園(幡山西保育園)を民営化することによる定員増加を見込む。
- 3歳以上の事業量について、③は現在の市内幼稚園の定員数から④(「補正数値の④欄」の数値)を除いた数値、⑤は平成27年度の認可保育所の定員数(予定)を見込む。



量の見込み(補正後)と教育・保育の提供体制より、確保方策を策定

【国の様式にあわせ、認定区分で表示】

※ 「2号認定で学校教育利用希望が高い」ニーズは1号認定として確保予定。

平成28年度で待機児童の解消ができる予定。

		平成27年度			平成28年度				
		1号	2号		3号	1号	2号		3号
			学校教育利用希望が高い	左記以外			学校教育利用希望が高い	左記以外	
量の見込み		1,737	1,575	703	1,716	2,404	691		
			348	1,227		344	1,213		
確保方策	特定教育・保育施設		1,227	623		1,213	653		
	確認を受けない幼稚園	2,085			2,060				
	特定地域型保育事業			19			38		
	認可外保育施設			61			0		

【定員】(予定)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
幼稚園	1号認定(3歳以上)	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062
保育園	2号認定(3歳以上)	1,607	1,607	1,607	1,607	1,607
	3号認定(3歳未満)	603	653	653	653	653

※認可外保育施設は、順次、特定地域型保育事業(小規模保育所等)へ移行予定

		平成29年度			平成30年度				
		1号	2号		3号	1号	2号		3号
			学校教育利用希望が高い	左記以外			学校教育利用希望が高い	左記以外	
量の見込み		1,691	1,533		679	1,654	1,502		664
			339	1,194			332	1,170	
確保 方 策	特定教育・保育施設		1,194		641		1,170		626
	確認を受けない幼稚園	2,030				1,986			
	特定地域型保育事業				38				38
	認可外保育施設				0				0

		平成31年度			
		1号	2号		3号
			学校教育利用希望が高い	左記以外	
量の見込み		1,629	1,476		646
			326	1,150	
確保 方 策	特定教育・保育施設		1,150		608
	確認を受けない幼稚園	1,955			
	特定地域型保育事業				38
	認可外保育施設				0

【保育所の活用について】

児童数の減少及び特定地域型保育事業（小規模保育等）へのニーズ増加により、特定教育・保育施設のうち、公立保育所の利用が減少する可能性がある。

子育て支援事業（子育て相談等）の実施やサポートが必要な児童の受入枠の増加など今後は公立保育所の活用方法も併せて検討していく。

3. 時間外保育事業

区域設定

瀬戸市全域

利用実績

	(単位)	平成 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
16時から18時	人/日	804	810	866	901	914
18時以降	人/日	463	466	486	533	557
時間外保育事業 合計	人/日	1,207	1,273	1,355	1,434	1,471

量の見込み(補正前 ※国の算出方法では18時以降の利用希望のみ)

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
時間外保育事業	人/日	442	435	428	419	410

量の見込み(補正後 ※国の算出方法によらず、16時以降の利用見込みを加味する)

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
時間外保育事業	人/日	1,350	1,362	1,339	1,311	1,283

- アンケートから算出した量の見込みは、18時以降の利用ニーズのみのため、実態を大きく下回る。従って、16時以降の利用見込みを加味し、平成26年4月1日現在の長時間保育・延長保育利用者の割合(73%)を入所予定児童数に掛けあわせ、ニーズとして仮定する。

確保方策

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
時間外保育事業	人/日	1,850	1,866	1,835	1,796	1,758

※瀬戸市では、長時間・延長希望者はすべて対応可能であるので、各年度の2号認定・3号認定で特定教育・保育施設の利用者を確保方策とする。

4. 放課後児童健全育成事業

区域設定

中学校区

利用実績

	(単位)	平成 20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
放課後児童クラブ	登録人数	649	638	651	765	761
学童クラブ	箇所	12	12	11	11	11
モアスクール	箇所	3	4	5	6	7

放課後児童クラブ (中学校区)	(単位)	平成26年度(4月1日登録者)		
		放課後児童クラブ	放課後学級	合計
低学年 市全域	人/日	495	222	717
水無瀬	人/日	65	64	129
祖東	人/日	22		22
南山	人/日	133	68	201
本山	人/日	37	35	72
幡山	人/日	68		68
品野	人/日	30	38	68
光陵	人/日	65	17	82
水野	人/日	75		75
高学年 市全域	人/日	240	28	268
水無瀬	人/日	32	3	35
祖東	人/日	18		18
南山	人/日	88	7	95
本山	人/日	25	3	28
幡山	人/日	14		14
品野	人/日	11	15	26
光陵	人/日	28	0	28
水野	人/日	24		24

量の見込み（補正前）

放課後児童クラブ （中学校区）		（単位）	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
低学年	市全域	人／日	1,007	1,006	969	957	944
	水無瀬	人／日	162	162	156	154	152
	祖東	人／日	30	30	29	29	28
	南山	人／日	232	232	223	220	218
	本山	人／日	48	47	46	45	44
	幡山	人／日	196	196	189	187	184
	品野	人／日	82	82	79	78	77
	光陵	人／日	71	71	68	67	66
	水野	人／日	186	186	179	177	175
高学年	市全域	人／日	609	596	605	597	597
	水無瀬	人／日	73	72	73	72	72
	祖東	人／日	10	10	10	10	10
	南山	人／日	140	137	139	138	138
	本山	人／日	31	30	30	30	30
	幡山	人／日	118	115	117	115	115
	品野	人／日	68	67	68	67	67
	光陵	人／日	56	55	56	55	55
	水野	人／日	113	110	112	110	110

- ニーズ調査ベースの量の見込みは、国の指針にしたがった集計規則に従って算出している。そのため、放課後児童クラブと放課後学級のニーズを区分できない。

量の見込み（補正後 ※平成26年度登録実績ベース）

放課後児童クラブ 人/日	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	児童 クラブ	放課後 学級								
低学年 市全域	488	218	483	215	467	210	463	208	455	204
水無瀬	64	63	64	63	62	61	61	60	60	59
祖東	22		22		21		21		20	
南山	131	67	126	64	125	64	123	63	121	62
本山	36	34	36	34	35	33	35	33	34	32
幡山	67		67		64		64		63	
品野	30	37	30	37	28	36	28	36	28	35
光陵	64	17	64	17	61	16	61	16	60	16
水野	74		74		71		70		69	
高学年 市全域	239	28	233	28	238	28	233	28	233	28
水無瀬	32	3	31	3	32	3	31	3	31	3
祖東	18		17		18		17		17	
南山	87	7	86	7	87	7	86	7	86	7
本山	25	3	24	3	24	3	24	3	24	3
幡山	14		14		14		14		14	
品野	11	15	11	15	11	15	11	15	11	15
光陵	28	0	27	0	28	0	27	0	27	0
水野	24		23		24		23		23	
合計 市全域	727	246	716	243	705	238	696	236	688	232
水無瀬	96	66	95	66	94	64	92	63	91	62
祖東	40		39		39		38		37	
南山	218	74	212	71	212	71	209	70	207	69
本山	61	37	60	37	59	36	59	36	58	35
幡山	81		81		78		78		77	
品野	41	52	41	52	39	51	39	51	39	50
光陵	92	17	91	17	89	16	88	16	87	16
水野	98		97		95		93		92	

- 登録実績ベースの量の見込みは、平成26年度4月1日時点登録率が今後も続くものと仮定し、人口推計の結果を掛け合わせて算出した。

参考（平成26年度4月1日時点登録率）

登録率	低学年		高学年	
	児童クラブ	放課後学級	児童クラブ	放課後学級
水無瀬	11.5%	11.3%	5.6%	0.5%
祖東	13.1%		10.5%	
南山	14.1%	7.2%	9.1%	0.7%
本山	30.3%	28.7%	20.2%	2.4%
幡山	10.8%		2.2%	
品野	10.7%	13.5%	3.8%	5.2%
光陵	20.0%	5.2%	8.5%	0.0%
水野	13.2%		4.2%	

確保方策

放課後児童クラブ 人／日	平成 27年度		平成 28年度		平成 29年度		平成 30年度		平成 31年度	
	児童 クラブ	放課後 学級								
市全域	834	330	874	370	914	410	954	450	954	500
水無瀬	97	67	97	67	137	67	137	67	137	67
祖東	40		40		40		40		40	50
南山	221	115	221	115	221	115	261	115	261	115
本山	62	38	62	38	62	38	62	38	62	38
幡山	122	40	122	40	122	40	122	80	122	80
品野	41	53	41	53	41	53	41	53	41	53
光陵	93	17	93	17	93	17	93	17	93	17
水野	158		194	40	198	80	198	80	198	80

■児童クラブ事業整備計画（予定）

- H 2 7 幡山 40人増
- H 2 8 水野 40人増
- H 2 9 水無瀬 40人増
- H 3 0 南山 40人増

■放課後学級事業整備計画（予定）

- H 2 7 南山 40人増
- H 2 8 水野 40人増
- H 2 9 水野 40人増
- H 3 0 幡山 40人増
- H 3 1 本山（祖東と合同） 50人増

- 児童クラブ事業及び放課後学級事業の整備計画については、子育てに関するアンケート調査結果や学年進行表を基に、ニーズの高い小学校区や児童数が増加する見込みのある地域に優先的に配置するもの。

5. 子育て短期支援事業（ショートステイ）

区域設定

瀬戸市全域

利用実績

	(単位)	平成 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
ショートステイ	人/年	0	0	0	0	0

量の見込み（補正前）

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ショートステイ	人/年	0	0	0	0	0

量の見込み（補正後）

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ショートステイ	人/年	0	0	0	0	0

- 実績、見込みともに0であるため、補正は行わない。

提供体制

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ショートステイ	人/年	0	0	0	0	0

6. 地域子育て支援拠点事業

区域設定

中学校区

利用実績

	(単位)	平成 20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
地域子育て支援拠点 事業	人/月	11,408	15,080	15,444	14,654	15,254

量の見込み（補正前）

地域子育て 支援拠点事業 (中学校区)	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市全域	人/月	5,141	5,050	4,950	4,841	4,715
水無瀬	人/月	806	792	778	759	739
祖東	人/月	200	196	193	187	183
南山	人/月	1,462	1,440	1,409	1,376	1,344
本山	人/月	388	372	368	364	353
幡山	人/月	836	823	805	787	766
品野	人/月	438	430	421	413	402
光陵	人/月	347	341	335	328	318
水野	人/月	664	656	641	627	610

量の見込み（補正後）

地域子育て 支援拠点事業 （中学校区）	（単位）	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市全域	人／月	15,444	15,444	15,444	15,444	15,444
水無瀬	人／月	2,421	2,422	2,427	2,421	2,421
祖東	人／月	601	599	602	597	599
南山	人／月	4,392	4,404	4,396	4,390	4,402
本山	人／月	1,166	1,138	1,148	1,161	1,156
幡山	人／月	2,511	2,517	2,512	2,511	2,509
品野	人／月	1,316	1,315	1,314	1,318	1,317
光陵	人／月	1,042	1,043	1,045	1,046	1,042
水野	人／月	1,995	2,006	2,000	2,000	1,998

- アンケートで把握した量の見込みが実績を大きく下回るため、過去5年間の利用実績のうち最大数をニーズとして仮定し、中学校区別の構成比を掛け合わせた数値をニーズとした。

提供体制

地域子育て 支援拠点事業 （中学校区）	（単位）	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市全域	箇所	3	3	3	3	3
水無瀬 （プレイルーム）	箇所	1	1	1	1	1
祖東	箇所					
南山 （交通児童遊園）	箇所	1	1	1	1	1
本山 （ファミリー交流館）	箇所	1	1	1	1	1
幡山	箇所					
品野	箇所					
光陵	箇所					
水野	箇所					

- 上記のほか、育児サロン（祖母懐（祖東学区）・山口（幡山学区）・赤津（祖東学区））にて子育て支援を実施。
- 子育て支援拠点事業以外に、子育ての相談の充実をめざし、内容・方法等を検討していく。

7. 一時預かり

区域設定

瀬戸市全域

利用実績

	(単位)	平成 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
幼稚園在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)	人/年	7,992	8,970	9,429	11,663	14,693
上記以外の不定期利用(私的利用の一時預かり)	人/年	337	226	138	120	285

- 私的利用の一時預かりについて、平成24年度までは“緊急一時預かり”のみの数値
- “一時保育”は平成25年度から実施

量の見込み(補正前)

		(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
幼稚園在園児を対象とした一時預かり	1号認定による利用	人/年	11,072	10,641	10,777	10,550	10,380
	2号認定による利用	人/年	29,703	30,770	30,327	30,327	29,888
上記以外の不定期利用(私的利用の一時預かり)		人/年	25,829	25,439	27,971	24,418	23,869

量の見込み(補正後)

		(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
幼稚園在園児を対象とした一時預かり	1号認定による利用	人/年	4,207	4,044	4,095	4,009	3,944
	2号認定による利用	人/年	11,287	11,693	11,524	11,524	11,357
上記以外の不定期利用(私的利用の一時預かり)		人/年	2,299	2,264	2,489	2,173	2,124

- 「1号認定による利用」の量の見込みは、国の指針に基づくニーズ量から、「緊急時・もしくは用事の際に子どもを親族にあずけることができる」保護者の割合(0.62)を除き算出した。
- 「2号認定による利用」の量の見込みは、幼稚園児の保護者を対象としたアンケートから算出した結果を基に、「緊急時・もしくは用事の際に子どもを親族に預けることができる」保護者の割合(0.62)を除き算出した。
- 私的利用の一時預かりは、国の示す指針の基づいたニーズ量に、「子どもをみてもらえる親族・知人がいずれもない」割合(0.089)を乗じて算出した。

提供体制

		(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
幼稚園在園児 を対象とした 一時預かり	1号認定による利用	人/年	4,207	4,044	4,095	4,009	3,944
	2号認定による利用	人/年	11,287	11,693	11,524	11,524	11,357
上記以外の不定期利用 (私的利用の一時預かり)		人/年	2,299	2,264	2,489	2,173	2,124

8. 病児・病後児保育、ファミリー・サポート・センター（病児・病後児）

区域設定

瀬戸市全域

利用実績

	(単位)	平成 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
病児・病後児保育	人／年	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

量の見込み（補正前）

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
病児・病後児保育	人／年	8,236	8,120	7,980	7,806	7,643

量の見込み（補正後）

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
病児・病後児保育	人／年	733	723	710	695	680

- 病気の子どもは、保護者が看病できない場合でも親族がみるケースが多いことが想定されるため、アンケート調査から把握した「子どもをみてもらえる親族・知人がいずれもない」家庭の割合（8.9％）を掛け合わせた数値をニーズとして仮定する。

確保方策

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
病児・病後児保育	人／年	1,458	1,470	1,476	1,464	1,470

1日定員6名×年間開所日数を確保方策とする。

開所日数 H27:243日 H28:245日 H29:246日 H30:244日 H31:245日

9. 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児対象）

区域設定

瀬戸市全域

利用実績

	(単位)	平成 20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
ファミリー・サポート・センター(生後3か月～小学校6年生))	活動 件数	1,008	1,259	1,786	1,301	1,087

量の見込み（補正前）

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ファミリー・サポート・センター(就学児のみ) (上段:低学年、下段:高学年)	人/年	166	211	214	212	211
		216	376	374	369	367

量の見込み（補正後）

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ファミリー・サポート・センター	人/年	1,786	1,786	1,786	1,786	1,786

- 国の方針では就学児のみのニーズを算出するため、実績を大きく下回る。そのため、就学児・未就学児問わず、過去の実績の最大数のニーズとして仮定する。

確保方策

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ファミリー・サポート・センター (上段:低学年、下段:高学年)	人/年	776	641	650	651	651
		1,010	1,145	1,136	1,135	1,135

- 国の算出基準に基づき算出した「量の見込み（補正前）」の低学年・高学年の人数割合を、実績に基づく「量の見込み（補正後）」の数値に掛けあわせた。

10. 利用者支援事業

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	箇所	1	1	1	1	1
確保方策		1	1	1	1	1

11. 妊婦に対する健康検査

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	人	917	902	877	855	835
確保方策		917	902	877	855	835

■ 平成25年度実績899人。人口推計の0歳児の出生数を各年度の量の見込みとする。

12. 乳児家庭全戸訪問事業

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	人	917	902	877	855	835
確保方策		917	902	877	855	835

■ 平成25年度実績637人。人口推計の0歳児の出生数を各年度の量の見込みとする。

13. 養育支援訪問事業

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	人	581	581	581	581	581
確保方策		581	581	581	581	581

■ 平成25年度実績581人(下記参照)。推計が困難なので、実績を各年度の量の見込みとする。

養育訪問支援事業	低体重児・検診未受診訪問	118件
	上記以外の母子保健訪問	404件
	養育支援等(家庭児童相談室担当)	59件
	合計	581件